

被介護者のADL10項目における自立度について、「自立」「一部介助」「全面介助」の3段階で介護者に尋ねたところ、葛飾では37.31～75.38%の介護者が、大館一田代では36.15～80.84%の介護者が「自立」と答えた。

また、地域別の比較では、「歩行」について、大館一田代の被介護者の自立度が高かった。

2. 被介護者のADL項目別自立度：被介護者データ

	葛飾			大館一田代			合計			地域差
	自立	一部 介助	全面 介助	自立	一部 介助	全面 介助	自立	一部 介助	全面 介助	
入浴	431 (62.10)		138 (18.01)	125 (60.00)	234 (15.90)	62 (24.10)	94 (61.35)	665 (18.45)	200 (20.20)	chi2=6.92 n.s.
階段	417 (60.52)	118 (17.13)	154 (22.35)	219 (56.44)	73 (18.81)	96 (24.74)	636 (59.05)	191 (17.73)	250 (23.21)	chi2=1.71 n.s.
着替	548 (78.85)	93 (13.38)	54 (7.77)	313 (80.26)	37 (9.49)	40 (10.26)	861 (79.35)	130 (11.98)	94 (8.66)	chi2=5.01 n.s.
歩行	466 (67.15)	129 (18.59)	99 (14.27)	291 (77.62)	51 (13.08)	48 (12.31)	757 (69.83)	180 (16.61)	147 (13.56)	chi2=7.27 p<0.05
移動	591 (85.04)	64 (9.21)	40 (5.76)	330 (84.62)	29 (7.44)	31 (7.95)	921 (84.88)	93 (8.57)	71 (6.54)	chi2=2.76 n.s.
食事	658 (94.68)	21 (3.02)	16 (2.30)	371 (95.13)	12 (3.08)	7 (1.79)	1029 (94.89)	33 (3.04)	12 (2.12)	chi2=0.31 n.s.
トイレ	618 (88.92)	39 (5.61)	38 (5.47)	345 (88.46)	18 (4.62)	27 (6.92)	963 (88.76)	57 (5.25)	65 (5.99)	chi2=1.36 n.s.
整容	609 (87.63)	53 (7.63)	33 (4.75)	338 (86.89)	25 (6.43)	26 (6.68)	947 (87.36)	78 (7.20)	59 (5.44)	chi2=2.23 n.s.
排尿	629 (90.50)	29 (4.17)	37 (5.32)	344 (88.21)	17 (4.36)	29 (7.44)	973 (89.68)	46 (4.24)	66 (6.08)	chi2=2.00 n.s.
排便	620 (89.21)	36 (5.18)	39 (5.61)	344 (88.21)	17 (4.36)	29 (7.44)	964 (88.85)	53 (4.88)	68 (6.27)	chi2=1.70 n.s.

被介護者のADL10項目における自立度について、「自立」「一部介助」「全面介助」の3段階で被介護者本人に尋ねたところ、葛飾では60.52～94.68%の介護者が、大館一田代では56.44～95.13%の被介護者が「自立」と答え、介護者の評価よりも自立度を高く評価している様子が観察された。

介護者の回答傾向と比較して注目すべき点は、介護者では「全面介助」の回答が20～40%を占めたのに対し、被介護者からの回答では「全面介助」は2～20%に留まっていることである。これは、ADL自立度の比較的高い被介護者のみが調査に応じたため、結果としてADLでは自立度の高い部分に回答が偏ったためと考えられる。

なお地域別の比較では、「歩行」について、大館一田代の被介護者の自立度が高く、介護者からの回答と同様の傾向を示した。

3. ADL 項目別自立度に関する回答の一致率

	葛飾		大館一田代		合計		地域差
	一致	不一致	一致	不一致	一致	不一致	
入浴	396 (84.98)	70 (15.02)	227 (80.21)	56 (19.79)	623 (83.18)	126 (16.82)	chi2=2.86 n.s.
階段	378 (80.43)	92 (19.57)	215 (76.24)	67 (23.76)	593 (78.86)	159 (21.14)	chi2=1.85 n.s.
着替	395 (84.76)	71 (15.24)	238 (84.10)	45 (15.90)	633 (84.51)	116 (15.49)	chi2=0.60 n.s.
歩行	382 (81.28)	88 (18.72)	237 (83.75)	46 (16.25)	619 (82.20)	134 (17.80)	chi2=0.27 n.s.
移動	411 (87.82)	57 (12.18)	251 (88.69)	32 (11.31)	662 (88.15)	89 (11.85)	chi2=0.13 n.s.
食事	434 (93.13)	32 (6.87)	264 (93.29)	19 (6.71)	698 (93.19)	51 (6.81)	chi2=0.01 n.s.
トイレ	436 (93.16)	32 (6.84)	258 (90.85)	26 (9.15)	694 (92.29)	58 (7.71)	chi2=1.33 n.s.
整容	406 (87.31)	59 (12.69)	248 (87.32)	36 (12.68)	654 (87.32)	95 (12.68)	chi2=0.00 n.s.
排尿	444 (91.83)	23 (8.17)	257 (89.75)	27 (10.25)	701 (91.04)	50 (8.96)	chi2=5.97 p<0.05
排便	439 (94.21)	27 (5.79)	259 (91.20)	25 (8.80)	698 (93.07)	52 (6.93)	chi2=2.48 n.s.

被介護者と介護者の双方から回答が得られている 749~753 組（項目によって総数は異なる）について、ADL の自立度に対する介護者と被介護者の回答の一致率を検討したところ、葛飾で 80.43~94.21%、大館一田代で 76.24~93.29%という数値が得られ、「排尿」では葛飾で一致率が高かった。

II IADL

1. 被介護者の IADL 項目別自立度（「している」「していない」）：介護者データ

	葛飾		大館一田代		合計		地域差
	自分で している	自分で していない	自分で している	自分で していない	自分で している	自分で していない	
部屋の掃除	75 (11.45)	580 (88.55)	79 (20.73)	302 (79.27)	154 (14.86)	882 (85.14)	chi2=16.41 p<0.001
衣類の洗濯	110 (16.79)	545 (83.21)	86 (22.57)	295 (77.43)	196 (18.92)	840 (81.08)	chi2=5.24 p<.05
日用品の買物	85 (12.98)	570 (87.02)	46 (12.07)	335 (87.93)	131 (12.64)	905 (87.36)	chi2=0.18 n.s.
食事の支度	98 (14.96)	557 (85.04)	47 (12.34)	334 (87.66)	145 (14.00)	891 (86.00)	chi2=1.38 n.s.
請求書の支払い	155 (23.66)	500 (76.34)	98 (25.72)	283 (74.28)	253 (24.42)	783 (75.58)	chi2=0.55 n.s.
電話	314 (48.01)	340 (51.99)	173 (45.41)	208 (54.59)	487 (47.05)	548 (52.95)	chi2=0.66 n.s.
服薬	352 (53.74)	303 (46.26)	235 (62.01)	144 (37.99)	587 (56.77)	447 (43.23)	chi2=6.68 p<0.01
外出	76 (11.62)	578 (88.38)	56 (14.70)	325 (85.30)	132 (12.75)	903 (87.25)	p=2.05 n.s.

被介護者の IADL 8 項目について「している」「していない」を介護者に尋ねたところ、葛飾では 11.45～53.74%の介護者が、大館一田代では 12.07～62.01%の介護者が「している」と答えた。

また、地域別の比較では、「部屋の掃除」「衣類の洗濯」と「服薬」について、葛飾の介護者が代わっている割合が高かった。

2. 被介護者の IADL 項目別実行度：被介護者データ

	葛飾		大館一田代		合計		地域差
	自分で している	自分で していない	自分で している	自分で していない	自分で している	自分で していない	
部屋の掃除	163 (23.45)	532 (76.55)	123 (31.54)	267 (68.46)	286 (26.36)	799 (73.64)	chi2=8.41 p<.01
衣類の洗濯	281 (40.43)	414 (59.57)	169 (43.33)	221 (56.67)	450 (41.47)	635 (58.53)	chi2=0.87 n.s.
日用品の買物	220 (31.65)	475 (68.35)	91 (23.33)	299 (76.67)	311 (28.66)	774 (71.34)	chi2=8.46 p<0.01
食事の支度	267 (38.42)	428 (61.58)	141 (36.15)	249 (63.85)	408 (37.60)	677 (62.40)	chi2=0.55 n.s.
請求書の支払い	352 (50.65)	343 (49.35)	183 (46.92)	207 (53.08)	535 (49.31)	550 (50.69)	chi2=1.39 n.s.
電話	531 (76.40)	164 (23.60)	260 (66.67)	130 (33.33)	791 (72.90)	294 (27.10)	chi2=11.99 p<.001
服薬	581 (83.64)	112 (16.16)	326 (83.59)	64 (16.41)	907 (83.75)	176 (16.25)	chi2=0.01 n.s.
外出	201 (28.96)	493 (71.04)	112 (28.72)	278 (71.28)	313 (28.87)	771 (71.13)	chi2=0.01 n.s.

先と同様の質問を被介護者に尋ねたところ、いずれの地域においても、被介護者は介護者よりも「自分でしている」と答える割合が高く、葛飾では 23.45～76.40%が、大館一田代では 23.33～83.59%が「自分でしている」と答えた。

地域別には、「部屋の掃除」「日用品の買物」では葛飾の「できる」割合が低く、逆に大館一田代では「電話」のできる割合が低かった。

3. IADL 実行度に関する被介護者と介護者の回答の一致率

	葛飾		大館一田代		合計		地域差
	一致	不一致	一致	不一致	一致	不一致	
部屋の掃除	416 (89.46)	49 (10.54)	260 (91.87)	23 (8.13)	676 (90.37)	72 (9.63)	chi2=1.76 n.s.
衣類の洗濯	430 (92.47)	35 (7.53)	259 (91.52)	24 (8.48)	659 (92.11)	59 (7.89)	chi2=0.22 n.s.
日用品の買物	430 (92.47)	35 (7.53)	256 (90.46)	27 (9.54)	686 (91.71)	62 (8.29)	chi2=0.94 n.s.
食事の支度	429 (92.26)	36 (7.74)	264 (93.29)	19 (6.71)	693 (92.65)	55 (7.35)	chi2=0.27 n.s.
請求書の支払い	402 (86.45)	63 (13.55)	247 (87.28)	36 (12.72)	649 (86.76)	99 (13.24)	chi2=0.11 n.s.
電話	411 (88.20)	55 (11.80)	245 (86.57)	38 (13.43)	656 (87.58)	93 (12.42)	chi2=0.42 n.s.
服薬	411 (88.58)	53 (11.42)	255 (90.11)	28 (9.89)	666 (89.16)	81 (10.84)	chi2=0.42 n.s.
外出	427 (91.83)	38 (8.17)	254 (89.75)	29 (10.25)	681 (91.04)	67 (8.96)	chi2=0.93 n.s.

被介護者と介護者の双方から回答が得られている 747~749 組 (項目によって総数は異なる) について、IADL の自立度に対する被介護者と介護者の回答の一致率を検討したところ、葛飾で 86.45~92.47%、大館一田代で 86.57~92.65%という数値が得られた。

4. 被介護者の IADL 項目別自立度（「できる」「できない」）：介護者データ

	葛飾		大館一田代		合計		地域差
	できる	できない	できる	できない	できる	できない	
部屋の掃除	147 (22.55)	505 (77.45)	125 (32.81)	256 (67.19)	272 (26.33)	761 (73.67)	chi2=13.06 p<.001
衣類の洗濯	165 (25.23)	489 (74.77)	132 (34.74)	248 (65.26)	297 (28.72)	737 (71.28)	chi2=10.61 p<.001
日用品の買物	130 (19.85)	525 (80.15)	93 (24.41)	288 (75.59)	223 (21.53)	813 (78.47)	chi2=2.97 n.s.
食事の支度	148 (22.66)	505 (77.34)	98 (25.86)	281 (74.14)	246 (23.14)	786 (76.86)	chi2=1.35 n.s.
請求書の支払い	204 (31.34)	447 (68.66)	130 (34.30)	249 (65.70)	334 (32.43)	696 (67.57)	chi2=0.96 p<.01
電話	363 (55.67)	289 (44.33)	192 (50.53)	188 (49.47)	555 (53.78)	477 (46.22)	chi2=2.56 n.s.
服薬	388 (59.42)	265 (40.58)	249 (65.70)	130 (35.30)	637 (61.72)	395 (38.28)	chi2=4.01 p<.05
外出	99 (15.25)	550 (84.75)	74 (19.47)	306 (80.53)	173 (16.81)	856 (83.19)	chi2=3.05 n.s.

被介護者の IADL 8 項目について「できる」「できない」を介護者に尋ねたところ、葛飾では 15.25～59.42% の介護者が、大館一田代では 19.47～65.70% の介護者が「できる」と答えた。

また、地域別の比較では、「部屋の掃除」「衣類の洗濯」「請求書の支払い」「服薬」について、大館一田代の被介護者の「できる」割合が高かった。先の「している」「していない」の比較では「食事の支度」以外には差がなかったことを考えると、大館一田代では、被介護者が「できる」のに自分で「していない」と思っている介護者が多いと推察される。また「食事の支度」は、「できる」「できない」では被介護者の状態に地域差が見られないものの、食事の支度を「している」割合は大館一田代で少ないことから、同様に被介護者は「食事の支度」を「できる」のに自分では「していない」と思っている介護者の割合が大館一田代で多いと推察される。

5. 被介護者の IADL 項目別自立度（「できる」「できない」）：被介護者データ

	葛飾		大館一田代		合計		地域差
	できる	できない	できる	できない	できる	できない	
部屋の掃除	260 (38.04)	430 (61.96)	193 (49.61)	196 (50.39)	457 (42.20)	626 (57.80)	chi2=13.69 p<.01
衣類の洗濯	362 (52.24)	331 (47.76)	223 (57.33)	166 (42.67)	585 (54.07)	497 (45.93)	chi2=2.60 n.s.
日用品の買物	294 (42.55)	397 (57.45)	153 (39.43)	235 (60.57)	447 (41.43)	632 (58.57)	chi2=0.99 n.s.
食事の支度	334 (48.34)	357 (51.66)	191 (49.35)	196 (50.65)	525 (48.70)	553 (51.30)	chi2=0.10 n.s.
請求書の支払い	433 (62.66)	258 (37.34)	225 (57.69)	165 (42.31)	658 (60.87)	423 (39.13)	chi2=2.59 n.s.
電話	576 (83.36)	115 (16.64)	295 (75.64)	95 (24.36)	871 (80.57)	210 (19.43)	chi2=9.48 p<.01
服薬	601 (87.10)	89 (12.90)	342 (87.69)	48 (12.31)	943 (87.31)	137 (12.69)	chi2=0.08 n.s.
外出	249 (36.19)	439 (63.81)	152 (39.28)	235 (60.72)	401 (37.30)	674 (62.70)	chi2p=1.01 n.s.

被介護者の IADL 8 項目について「できる」「できない」を被介護者本人に尋ねたところ、葛飾では 36.19～87.10%の介護者が、大館一田代では 39.28～87.69%の介護者が「できる」と答えた。介護者よりも被介護者の方が自身の IADL を高く見積もっていることも、「している」「していない」の回答傾向と同様であった。

また、地域別の比較では、「部屋の掃除」「誰かに電話する」について、大館一田代の被介護者の「できる」割合が高かったが、地域差の得られた項目は、介護者データを用いた場合よりも少なかった。

6. IADL 自立度に関する被介護者と介護者の回答の一致率（「できる」「できない」）

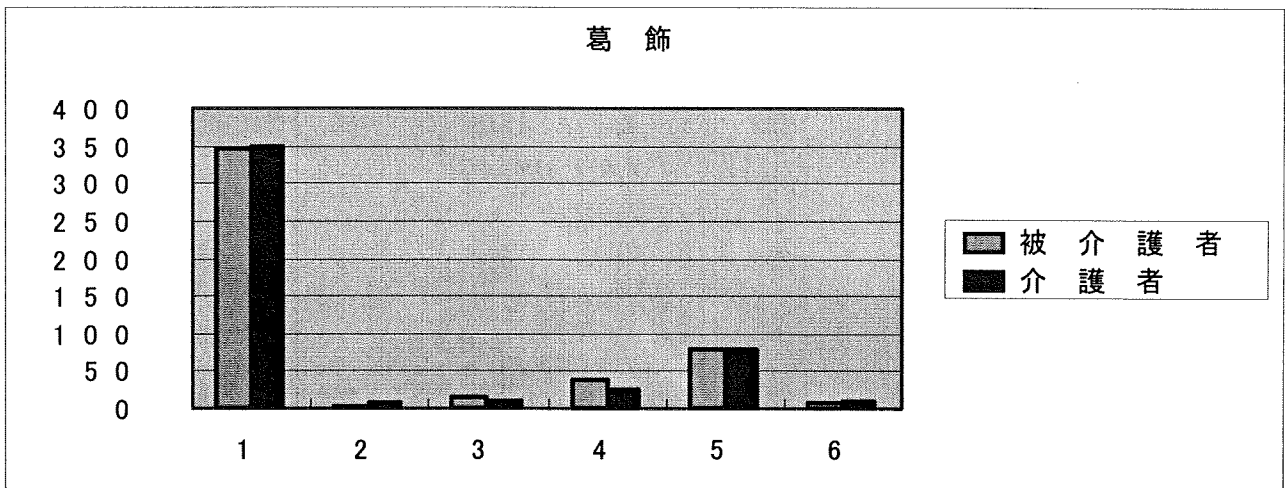
	葛飾		大館一田代		合計		地域差
	一致	不一致	一致	不一致	一致	不一致	
部屋の掃除	392 (84.67)	71 (15.33)	244 (86.22)	39 (13.27)	636 (85.25)	110 (14.75)	chi2=0.33 n.s.
衣類の洗濯	402 (87.01)	60 (12.99)	251 (89.01)	31 (10.99)	653 (87.77)	91 (12.23)	chi2=0.65 n.s.
日用品の買物	403 (87.42)	58 (12.58)	225 (79.51)	58 (20.49)	628 (84.41)	116 (15.59)	chi2=8.34 p<.01
食事の支度	411 (89.15)	50 (10.15)	253 (90.04)	28 (9.96)	664 (89.49)	78 (10.51)	chi2=0.14 n.s.
請求書の支払い	386 (84.10)	73 (15.90)	240 (85.41)	41 (14.59)	626 (84.59)	114 (15.41)	chi2=0.23 n.s.
電話	404 (87.83)	56 (12.17)	248 (87.94)	34 (12.06)	652 (87.87)	90 (12.13)	chi2=0.00 n.s.
服薬	407 (87.72)	57 (12.28)	254 (89.75)	29 (10.25)	661 (88.49)	86 (11.51)	chi2=0.72 n.s.
外出	407 (88.29)	54 (11.71)	245 (87.50)	35 (12.50)	652 (87.99)	89 (12.01)	chi2=0.11 n.s.

被介護者と介護者の双方から回答が得られている 740~747 組（項目によって総数は異なる）について、IADL の自立度に対する回答の一致率を検討したところ、79.51~90.04%と高い割合が得られたが、先の IADL 実行度の一致率よりは低くなっていた。

また地域差では、「日用品の買物」において大館一田代の一致率が葛飾よりも低くなっていた。

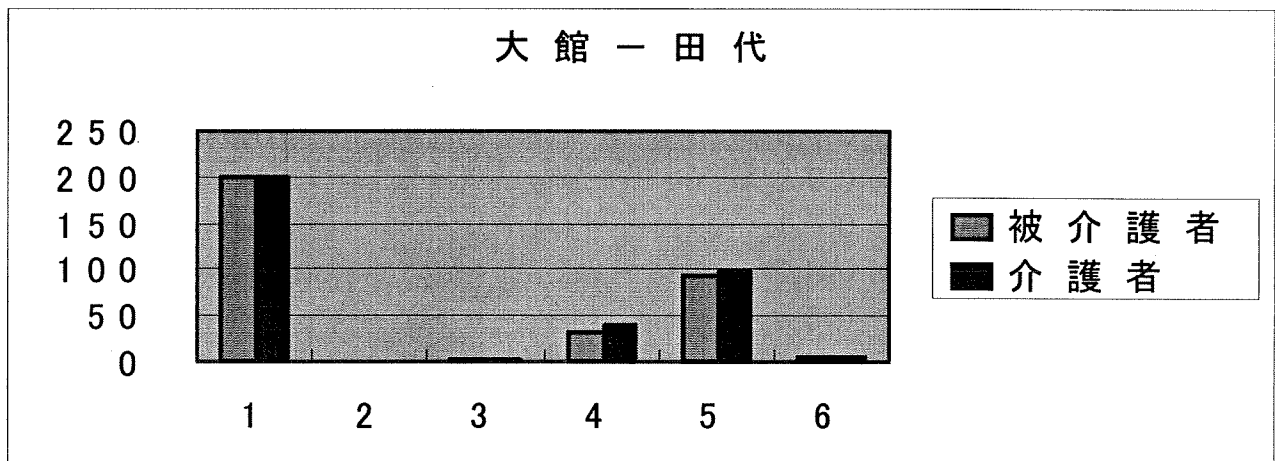
7. IADL 支援のきっかけ

1) IADL 支援のきっかけ：被介護者および介護者データの比較



IADL 支援を開始したきっかけ

1. 健康状態が悪化したから（痴呆症状のはじまりを含む）
2. 被介護者の子供の結婚
3. 被介護者の配偶者の死亡
4. 被介護者が介護者と同居したから
5. もともとしていなかった
6. その他



2) IADL 支援のきっかけ：一致率

	葛飾		大館一田代		合計		地域差
	一致	不一致	一致	不一致	一致	不一致	
健康状態の悪化	387 (86.58)	60 (13.42)	228 (82.61)	48 (17.9)	615 (85.06)	108 (17.94)	chi2=2.12 n.s.
子供の結婚	441 (98.66)	6 (1.34)	275 (99.64)	1 (0.36)	716 (99.03)	7 (0.97)	chi2=1.71 n.s.
配偶者の死亡	435 (97.32)	12 (2.68)	274 (99.28)	2 (0.72)	709 (98.06)	14 (1.94)	chi2=3.45 n.s.
同居	416 (93.06)	31 (6.94)	242 (87.68)	34 (12.32)	658 (91.01)	65 (8.99)	chi2=6.04 p<.05
していなかった	396 (88.59)	51 (11.41)	226 (81.88)	50 (18.12)	622 (86.03)	101 (13.97)	chi2=6.39 p<.05
その他	435 (97.32)	12 (2.68)	268 (97.10)	8 (2.90)	703 (97.23)	20 (2.77)	chi2=0.30 n.s.

IADL 支援を開始したきっかけについては、被介護者と介護者の回答に高い一致率が見られたが、「介護者と同居したから」「もともとしていなかった」で、大館一田代に一致率が低い様子うかがわれた。

II. 被介護者と介護者の抑うつ症状（CES-D）の相関関係

	被介護者の抑うつ症状	
	葛飾	大館一田代
介護者の抑うつ症状	0.21	0.14

介護者と被介護者それぞれの抑うつ症状を CES-D を用いて測定した。ペアで回答の得られた葛飾 447 組、大館一田代 265 組について相互の関連を検討したところ、弱い相関が得られ、大館一田代での相関が低い様子が観察された。

III. 被介護者と介護者の人生満足度（LSI）の相関関係

	被介護者の人生満足度	
	葛飾	大館一田代
介護者の人生満足度	0.17	0.10

介護者と被介護者それぞれの抑うつ症状を CES-D を用いて測定した。ペアで回答の得られた葛飾 427 組、大館一田代 261 組について相互の関連を検討したところ、弱い相関が得られ、大館一田代での相関が低い様子が観察された。

IV. 栄養状態に関する認識の一致率

被介護者と介護者の双方に、被介護者の栄養状態に関する下記の質問を行った。

1. 最近、病気のために食べる物の種類や量が変わりましたか。
2. 一日に 1 食だけ、あるいは、まったく食べないことがありますか。
3. 果物や野菜、乳製品を食べていますか。
4. ビールやお酒、ワインなどのアルコール類をほとんど毎日 3 杯以上飲んでいますが。
5. 歯や口の中の具合が悪いために、食べることが困難なことがありますか。
6. お金のことが気になって、食べ物を買うのを控えることがありますか。
7. ひとりで食事をすることが多いですか。
8. 日に 3 種類以上の薬を飲んでいますが。
9. そうしようとしたわけでもないのに、この半年で体重が 4～5 kg 以上変わりましたか。
10. 身体の具合が悪いために、食事のしたくができないことがありましたか。
11. 身体の具合が悪いために、食事をしないことがありますか。

各質問に対する被介護者と介護者の回答の一致率は次ページの表のとおりである。

	葛飾		大館一田代		合計		地域差
	一致	不一致	一致	不一致	一致	不一致	
食べる物の変化	345 (73.72)	123 (26.28)	205 (72.95)	76 (27.05)	550 (73.43)	199 (26.57)	chi2=0.05 n.s.
1日1食以下	412 (98.66)	55 (1.34)	248 (99.64)	32 (0.36)	660 (99.03)	87 (0.97)	chi2=0.21 n.s.
果物・野菜 ・乳製品	410 (87.98)	56 (12.02)	254 (90.39)	27 (9.61)	664 (88.89)	83 (11.11)	chi2=1.30 n.s.
アルコール	457 (97.86)	10 (2.14)	277 (98.58)	4 (1.42)	734 (98.13)	14 (1.87)	chi2=0.49 n.s.
口腔内の問題	379 (81.33)	87 (18.67)	226 (80.71)	54 (19.29)	605 (81.10)	141 (18.90)	chi2=0.04 n.s.
お金	412 (88.41)	54 (11.59)	266 (95.34)	13 (4.66)	678 (91.01)	67 (8.99)	chi2=10.26 p<0.01
孤食	382 (81.97)	84 (18.03)	238 (84.70)	43 (15.30)	620 (83.00)	127 (17.00)	chi2=0.92 p<0.01
3種類以上の 服薬	410 (87.42)	59 (12.58)	230 (82.44)	49 (17.56)	640 (85.56)	108 (14.44)	chi2=3.52 n.s.
体重減少	392 (84.30)	73 (15.70)	259 (92.83)	20 (7.17)	651 (87.50)	93 (12.50)	chi2=11.60 p<0.01
食事の支度 ができない	376 (80.51)	91 (19.49)	250 (88.97)	31 (11.03)	626 (83.69)	122 (16.31)	chi2=9.19 p<0.01
欠食	399 (85.44)	68 (14.56)	244 (86.83)	37 (13.17)	643 (85.96)	105 (14.04)	chi2=0.28 n.s.

葛飾では73.72~97.86%、大館一田代では72.95~98.58%の一致率を示した。

地域差では、「お金のことが気になって、食べ物を買うのを控えることがある」「ひとりで食事をすることが多い」「そうしようとしたわけでもないのに、この半年で体重が4~5kg以上変わった」「身体の具合が悪いために、食事のしたくができないことがあった」で、葛飾の一致率が低い様子が観察された。このような地域差は、葛飾において、主たる介護者と同居していない被介護者の割合が高いことによる(葛飾では90.08%が介護者と同居、大館一田代では94.23%が同居。Chi2=5.39 p<0.05)のではないかと推察されるが、最終的

な結論を導くまでには、さらに詳細な検討が必要である。

V. 記憶障害に関する認識の相関

被介護者には MMSE を実施し、介護者には過去 1 ヶ月に被介護者に下記のような事柄が見られるかどうかを尋ねた。

1. 自分の年齢がわからないことが多い。
2. 成れている場所でも、ときに道を間違えることがある。
3. 子どものすんでいる都道府県あるいは市区町村がわからない。
4. 今すんでいる場所を自分の家だと思っていないことがある。
5. 同居している子供やその配偶者を他人と間違えることがある。
6. 直前に食べた食事を、食べていないということがある。
7. 子供の人数をきちんと数えられないことがある。
8. 家の中で目的なく歩きまわることが目立つ。
9. 鏡に映っている自分に話しかけることがある。
10. 1 日中とりとめもないことをじゃべっている。
11. 同じ動作を何回もくりかえす。
12. 食べられるものは手当たり次第食べてしまう。
13. 特に理由なく入浴や着替えをいやがる。
14. 家の中でも洗面所の場所がわからないことがある。
15. 理由無く夜起きて騒ぐ。
16. 食べ物でないものを口の中に入れてしまう。

	被介護者の MMSE 得点	
	葛飾	大館一田代
被介護者の記憶障害 に対する介護者の評価	0.36	0.40

被介護者で MMSE の実施が困難であった 19 名を除いたうえで、ペアで回答の得られた葛飾 428 組、大館一田代 257 組について総得点の関連を検討したところ、いずれの地域においても中程度の相関が認められた。

VI. 贈り物に関する認識の相関

1. 被介護者からの贈り物に対する認識〔複数回答〕：介護者データ

差	葛飾		大館一田代		合計		地域
	受けた	受けない	受けた	受けない	受けた	受けない	
介護者の生活費	131 (20.00)	524 (80.00)	106 (27.82)	275 (72.18)	237 (22.88)	799 (77.12)	chi2=8.35 p<0.01
家の新築・増改築	53 (8.09)	602 (91.91)	28 (7.35)	353 (92.65)	81 (7.82)	955 (92.18)	chi2=0.18 n.s.
まとまった資金援助	11 (1.68)	644 (98.32)	12 (3.15)	369 (96.85)	23 (2.22)	1013 (97.78)	chi2=2.40 n.s.
土地の贈与	9 (1.37)	646 (98.63)	6 (1.57)	375 (98.43)	15 (1.45)	1021 (98.55)	chi2=0.07 n.s.
その他の物品	19 (2.90)	636 (97.10)	4 (1.05)	377 (98.95)	23 (2.22)	1013 (97.78)	chi2=3.80 n.s.
しなかった	462 (70.53)	193 (29.47)	243 (63.78)	138 (36.22)	705 (68.05)	331 (31.95)	chi2=5.06 p<0.05

被介護者から表中に示したような援助や贈り物を受けたかどうかを介護者に尋ねたところ、葛飾では1.37～20.00%、大館一田代では1.05～27.82%が「受けた」と答えた。大館一田代で「介護者の生活費」を「受けた」と答えた介護者の割合が高いのは、介護者との同居世帯が葛飾よりも多いためと推察される。

2. 被介護者からの贈り物に対する認識（複数回答）：被介護者データ

差	葛飾		大館一田代		合計		地域
	受けた	受けない	受けた	受けない	受けた	受けない	
介護者の生活費	88 (12.66)	607 (87.34)	76 (19.49)	314 (80.51)	164 (15.12)	921 (84.88)	chi2=9.07 p<0.01
家の新築・増改築	40 (5.76)	655 (94.24)	28 (7.18)	362 (92.82)	98 (6.27)	1017 (93.73)	chi2=0.86 n.s.
まとまった資金援助	11 (1.58)	684 (98.42)	14 (3.59)	376 (96.41)	25 (2.30)	1060 (97.70)	chi2=4.47 p<0.05
土地の贈与	19 (2.73)	676 (97.27)	15 (3.85)	375 (96.15)	34 (3.13)	1051 (96.87)	chi2=1.19 n.s.
その他の物品	51 (7.34)	644 (92.66)	14 (3.59)	376 (96.41)	65 (5.99)	1020 (94.01)	chi2=6.23 p<0.05
しなかった	513 (73.81)	182 (26.19)	270 (69.23)	120 (30.77)	783 (72.17)	302 (27.83)	chi2=2.61 n.s.

介護者に表中に示したような援助や贈り物をしたかどうかを被介護者に尋ねたところ、葛飾では 1.58～12.66%、大館一田代では 3.59～19.49%が「した」と答えた。大館一田代で「介護者の生活費」を「した」と答えた介護者の割合が高いのは、先と同様に介護者との同居世帯が葛飾よりも多いためと推察される。

3. 被介護者からの贈り物に対する認識の一致・不一致

	葛飾		大館一田代		合計		地域差
	一致	不一致	一致	不一致	一致	不一致	
介護者の 生活費	380 (81.72)	85 (18.28)	221 (78.09)	62 (21.91)	601 (80.35)	147 (19.65)	n.s. chi2=1.47
家の新築・ 増改築	435 (93.55)	30 (6.45)	258 (91.17)	25 (8.83)	693 (92.65)	55 (7.35)	n.s. chi2=1.47
まとまった 資金援助	450 (96.77)	15 (3.23)	267 (94.35)	16 (5.65)	717 (95.86)	31 (4.14)	n.s. chi2=2.61
土地の贈与	451 (96.99)	14 (3.01)	269 (95.05)	14 (4.95)	720 (96.26)	28 (3.74)	n.s. chi2=1.83
その他の物品	433 (93.12)	32 (6.88)	276 (97.53)	7 (2.47)	709 (94.79)	39 (5.21)	p < 0.01 chi2=6.92
しなかった	350 (75.27)	115 (24.73)	201 (71.02)	82 (28.98)	551 (73.66)	197 (26.34)	n.s. chi2=1.63

被介護者と介護者の回答の一致率は、葛飾で 75.27～96.99%、大館一田代で 71.12～97.53%と、いずれも高い一致率が得られた。

地域別の比較では、「その他の物品」について、葛飾での一致率が低かった。

VII. 世帯の経済状態に関する認識の相関

1. 世帯の収入に関する被介護者と介護者の回答傾向の比較

	葛飾 ＜被介護者＞					大館一田代 ＜被介護者＞				
	100万 未満 万未満	100万 ～200 万未満	200万 ～300 万未満	300万 ～500 万未満	500万 以上	100万 未満 万未満	100万 ～200 万未満	200万 ～300 万未満	300万 ～500 万未満	500万 以上
＜介護者＞										
100万 未満	1	3	1	3	1	1	1	0	0	0
100万 ～200 万未満	1	32	4	2	7	0	17	0	1	0
200万 ～300 万未満	0	1	44	9	3	2	8	20	0	1
300万 ～500 万未満	0	0	3	30	6	3	0	4	22	1
500万 以上	0	1	1	5	24	2	2	0	6	16
相関係数	0.65					0.66				

2. 世帯の収入に対する回答の一致率

葛飾		大館一田代		合計		地域差
一致	不一致	一致	不一致	一致	不一致	
139	78	77	45	216	123	chi2=0.03
(64.06)	(35.94)	(63.11)	(36.89)	(63.72)	(36.28)	n.s.

世帯の収入について尋ねた結果を、被介護者と介護者が同居している世帯のみについて比較した。無回答者が多かったため、分析対象数は極端に少なくなっている。

得られた結果の限りでは、被介護者と介護者の回答の間には、葛飾で0.65、大館一田代で0.66という相関係数が得られた。回答の一致率は葛飾で64.06%、大館一田代で63.11%であった。

3. 世帯の経済状態に関する被介護者と介護者の回答傾向の比較

	葛飾 ＜被介護者＞					大館一田代 ＜被介護者＞				
	ゆとり がある 苦しい	やや がある	どちら ゆとり えない	やや ともい 苦しい	苦しい	ゆとり がある	やや がある	どちら ゆとり えない	やや ともい 苦しい	苦しい
＜介護者＞										
ゆとり がある	15	12	2	0	0	17	8	3	0	0
やや がある	17	39	18	2	2	11	23	8	5	1
どちら ともい えない	10	29	70	24	6	6	10	34	8	3
やや 苦しい	3	6	24	17	7	2	0	7	18	5
苦しい	2	4	2	10	10	0	1	3	4	3
相関係数	0.54					0.63				

4. 世帯の経済状態に対する回答の一致率

葛飾		大館一田代		合計		地域差
一致	不一致	一致	不一致	一致	不一致	
151	180	95	85	246	265	chi2=2.39
(45.62)	(54.38)	(52.78)	(47.22)	(48.14)	(51.86)	n.s.

「毎月のやりくりはいかがですか」と尋ねて世帯の経済状態を尋ねた結果を、被介護者と介護者が同居している世帯のみについて比較した。世帯収入と同様、分析対象数は少なくなっている。

得られた結果の限りでは、被介護者と介護者の回答の間には葛飾では0.54、大館一田代では0.63という相関係数が得られた。回答の一致率は葛飾で45.62%、大館一田代で52.78%と、収入に対する質問よりは低い割合であった。

VIII. 介護費用負担に関する認識

1. 介護にかかわる費用を誰が負担しているか（複数回答）：介護者データ

	葛飾	大館一田代
被介護者の収入	387 (87.23)	259 (91.52)
被介護者の預貯金の取り崩し	60 (12.90)	18 (6.36)
被介護者以外（介護者等） の収入・預貯金等	147 (31.61)	44 (15.55)
費用はかかっていない	31 (6.67)	14 (4.95)

2. 介護にかかわる費用を誰が負担しているか（複数回答）：被介護者データ

	葛飾	大館一田代
被介護者の収入	367 (78.92)	235 (83.04)
被介護者の預貯金の取り崩し	41 (8.82)	12 (4.24)
被介護者以外（介護者等） の収入・預貯金等	41 (8.82)	21 (7.42)
費用はかかっていない	11 (2.37)	7 (2.87)

3. 介護にかかわる費用を誰が負担しているか（複数回答）：介護者と被介護者の一致率

	葛飾		大館一田代		地域差	
	一致	不一致	一致	不一致		
被介護者の収入	377 (81.08)	88 (18.92)	233 (82.33)	80 (17.67)	chi2 =	n.s.
被介護者の預貯金の取り崩し	416 (92.44)	34 (7.56)	267(96.04)	11(3.96)	chi2=3.84	p<.05
被介護者以外（介護者等） の収入・預貯金等	329(70.75)	136(29.25)	246(86.93)	37(13.07)	chi2=25.88	p<.001
費用はかかっていない	447 (98.46)	7 (1.54)	265(96.72)	9(3.28)	chi2=2.41	n.s.